



in高知県
佐川町



佐川おもちゃ美術館

SAKAWA TOY MUSEUM KOCHI

2023年
7月15日 SAT **開館**
Grand OPEN!

おもちゃ美術館が まきのさんの道の駅・佐川に2023年夏オープン！

TOUCH!



- 高知県産の木材をふんだんに使った木育空間。
- 木製のおもちゃに触れて、おもちゃと遊びで地域の文化を知る。

PLAY!



- 豊かな遊びを通して、子どもも大人もドキドキわくわく！
- 木のものづくりの体験もでき、作ってあそぶ楽しさを！

COMMUNICATION!



- 0歳から100歳まで、多世代の人が集い交流が生まれる場。
- 地域のボランティア「おもちゃ学芸員」が遊びの案内人。

佐川おもちゃ美術館について

佐川町は、日本植物学の父・牧野富太郎博士の生誕の地。

豊かな自然・森林・植物に親しむ心を、多世代交流を通して育む、おもちゃ美術館です。

この夏に開設予定の道の駅との一体構想で誕生するおもちゃ美術館は、「木育」に加えて「植育」をコンセプトに掲げています。2023年前期NHK連続テレビ小説「らんまん」主人公のモデル、牧野富太郎のふるさとである佐川町。おもちゃ美術館の中にも多くの花が咲き乱れ、「植物採集遊び」が出来るように計画を進めています。植物のまちならではの、草花に親しむ心を育てる空間を作り上げます。



まきのさんの花畑

牧野博士が愛した植物を、木のおもちゃ等でできた「花畑」として館内に再現。牧野博士が命名した樹木も、さまざまな形で館内に配置されます。



赤ちゃん木育ひろば

館内には、一部、赤ちゃん専用のスペースもあります。赤ちゃんとご家族で、木の香りに包まれる優しい空間で、ゆったり遊ぶ時間を過ごせます。



まきのさんの山

林業家たちが活躍する佐川町の山や、山に囲まれた地形を木材で表現。山や森での遊び、地質学発祥の地ならではの「化石発掘遊び」も体験できます。

全国に広がるおもちゃ美術館

東京おもちゃ美術館では、当館の理念にご賛同いただいた方々と一緒に、日本中におもちゃ美術館を設立する「姉妹おもちゃ美術館」事業を進めています。2023年夏に開館する「佐川おもちゃ美術館」は、全国で12館目の開館となる予定です。



佐川おもちゃ美術館

- 開館時間：10:00～16:00(最終入館15:30)
- 定休日：毎週水曜日、年末年始ほか
- 運営：一般財団法人しあわせづくり佐川

入館料	一般	佐川町民
1歳未満	無料	無料
こども(1歳以上～中学生まで)	500円	200円
おとな(高校生以上)	800円	400円

最新情報はfacebookなどをご覧ください。f @

〒789-1204 高知県高岡郡佐川町加茂2711番地1 佐川おもちゃ美術館
【アクセス】

- 高知自動車道伊野ICから25分、または須崎東ICから約25分
- JR佐川駅より車で約5分

お問い合わせ：佐川町 産業振興課 担当：田村
TEL：0889-22-7708 FAX：0889-22-4950

当館は、東京おもちゃ美術館の総合監修の下、佐川町が設立、運営を一般財団法人しあわせづくり佐川が担います。両館は「姉妹おもちゃ美術館協定」に基づき、双方の連携のもと、木育の普及および多世代交流、地域活性化などを目的とする社会貢献型的美術館です。